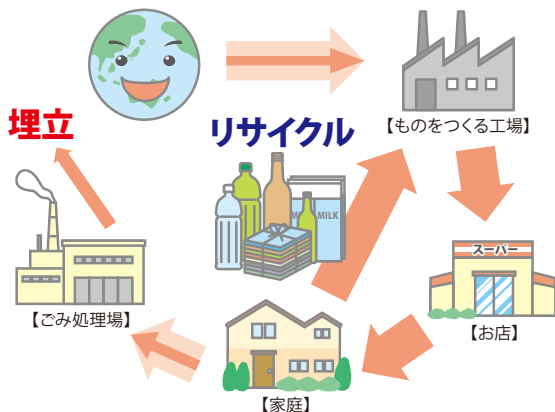


■ リサイクルをした場合のものの流れイメージ

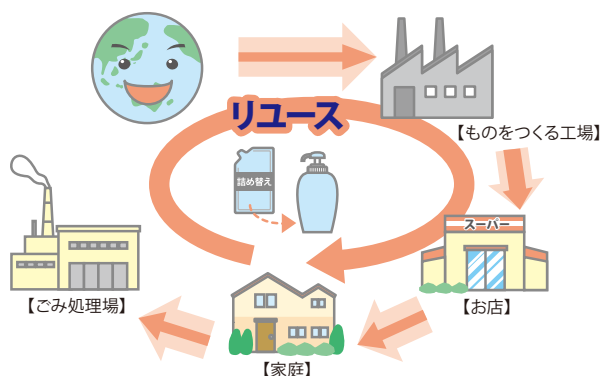
◎ 矢印の太さはものの量をイメージしています。



- リサイクルとは、資源として再資源化することです。
- 再資源化とは、一度使用したものを素材毎に分別し、再び新しいものに再生することを意味します。
- 事業者は、リサイクル適性を配慮した商品进行設計するとともに「再生紙」のような再資源化商品の開発を積極的行い、また、自社で生産・販売した商品がリサイクルされる段階で、リサイクルに積極的に協力します。
- 消費者は、不要となったものを各地域の分別ルールに従って分別排出するとともに、再資源化商品を購入します。
- その結果、天然資源の節約やごみの減量につながり、ごみの最終処分場の延命につながります。

■ リユースをした場合のものの流れイメージ

◎ 矢印の太さはものの量をイメージしています。

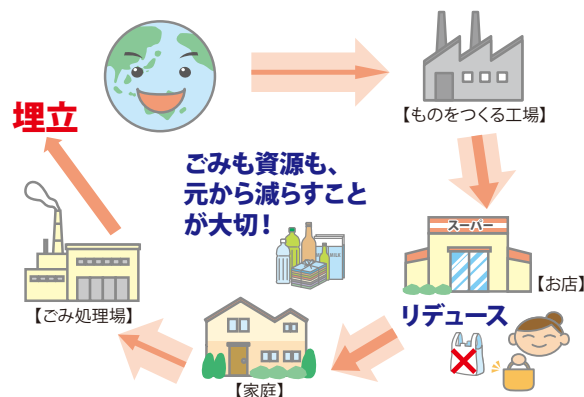


- リユースとは、一度使ったものを繰り返し使うことを意味します。
- 事業者は長くくり返し使える製品設計に心掛け、またくり返し使用できる容器で商品进行流通させます。

- 消費者は、長く繰り返し使えるものを積極的に選ぶことや、不要になったものを地域で譲り合います。
- その結果、天然資源の節約やごみの減量につながります。

■ リデュースをした場合のものの流れイメージ

◎ 矢印の太さはものの量をイメージしています。



- リデュースとは、製品の製造段階での資源やエネルギーの使用や廃棄物および消費段階での廃棄物となるものの発生を抑制することです。
- 事業者は、製品を製造・販売する段階で使用する天然資源や投入エネルギーを最小限に抑えます。また、長く使える製品設計（長寿命設計）に心掛けます。
- 消費者は、余分なものやすぐにごみになってしまうようなもの、過剰包装と思われるものは買わないように気をつけたり、長期間使えるものを選び、長期間使うことを心がけます。
- その結果、左図のすべての段階で、資源やエネルギー量が抑えられ、「循環型社会」に大きく近づきます。

3Rで循環型社会を実現

私たちが「循環型社会」を実現していくためには、リデュース・リユース・リサイクルが正しく理解され、しっかりと実践されなければいけません。

「循環型社会」を実現するには、使い捨て商品の消費を抑え、ものを大切にできるだけ長く使う（あるいはくり返し使う）ことが大切であり、どうしても使えなくなった状態のものを分別し再資源化をすることが求められます。